

# ★ おおだて 市議会だより 109号

平成25年8月1日



平成25年6月定例会（会期：6月4日～6月20日）

- 主な議案等の審査結果（6月定例会、第1回臨時会）……… P. 2
- 一般質問…………… P. 4
- 議会の構成
- 全国市議会議長会表彰 表彰状伝達等…………… P. 8

芝谷地湿原（积迦内）

平成25年7月2日撮影

# 主な議案等の審査結果

## 6月定例会 (会期: 6月4日~6月20日)

内訳: 報告11件、専決処分の報告2件、条例案8件、単行案4件、予算案9件、人事案1件、設置・選任1件、意見書案2件、請願2件、陳情3件、継続審査分陳情3件

計46件

主　な　案　件　・　内　容	結　果
<p>○ 議会の議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正、市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正、教育長の給与等に関する条例の一部改正、大館市病院事業管理者の給与及び旅費に関する条例の一部改正、大館市職員の給与に関する条例の一部改正            (平成25年7月1日から平成26年3月31日までの間の給与または報酬月額の引き下げを行うものです。)</p> <p>市長 852,000円 ⇒ 803,266円 副市長 676,000円 ⇒ 637,333円            議長 412,000円 ⇒ 388,434円 副議長 375,000円 ⇒ 353,550円            議員 357,000円 ⇒ 336,580円 教育長 572,000円 ⇒ 539,282円            病院事業管理者 670,000円 ⇒ 631,676円</p>	
<p>○ 一般会計補正予算（第2号）案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>弘前大学地域医療推進学講座設置事業費寄附金 2,000万円</li> <li>积迦内工業団地整備事業費追加（用地購入費） 1,228万円</li> <li>大館市プレミアム商品券発行事業費補助金 2,000万円</li> <li>ローズガーデンフェンス改修事業費 1,707万円</li> <li>認定リサイクル製品地域集中型モデル事業（公園整備工事費） 1,020万6,000円</li> <li>大館樹海ドーム駐車場整備等事業費 2,754万4,000円</li> <li>交流センター改修事業費 2,033万9,000円</li> <li>下川沿公民館改築事業費 1億7,955万1,000円</li> <li>緊急雇用創出等臨時対策基金事業費追加 4,093万8,000円</li> <li>議員報酬等の減額 △1,302万7,000円</li> <li>職員（市長・副市長・教育長を含む）給与等の減額 △2億1,501万8,000円</li> </ul> <p>など</p>	原案可決
<p>○ 一般会計補正予算（第3号）案</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>風しん予防接種委託料と小・中学校耐震補強工事費の追加 2,914万8,000円</li> </ul>	
<p>○ 人権擁護委員の候補者の推薦</p> <p>伊藤良子氏(館下)</p>	異議なし



## 第1回臨時会（会期：5月17日）

内訳：専決処分の報告1件及び承認4件、条例案1件、予算案1件、辞職許可2件、選挙2件、選任2件、人事案2件

計15件

主な案件・内容	結果
<input type="radio"/> 大館市議会委員会条例の一部改正 大館市の行政組織機構の一部改正に伴い、市議会各常任委員会の所管事項を変更した ものです。	原案可決
<input type="radio"/> 一般会計補正予算（第1号）案 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道路補修工事費追加</li> </ul>	2,700万円など

## 請願・陳情

### 6月定例会に提出されたもの

請願	<input type="radio"/> 少人数学級推進などの定数改善と義務教育費国庫負担2分の1の復元を求める意見書の提出要請について <input type="radio"/> 「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書の提出要請について	採択
陳情	<input type="radio"/> ドクターヘリの安全運航と県民の安全・安心を守るため、米軍機の低空飛行中止を求める意見書の提出要請について <input type="radio"/> 年金2.5%の削減中止を求める意見書の提出要請について <input type="radio"/> 日本政府に「核兵器全面禁止の決断と行動を求める」意見書の提出要請について	継続審査

### 継続審査となっていたもの

陳情	<input type="radio"/> 社会保障と税の一体改革による消費税増税は行わないことを求める意見書の提出要請について <input type="radio"/> 社会保障と税の一体改革の中止を求める意見書の提出要請について <input type="radio"/> 住民の安全・安心を支える公務・公共サービスの体制・機能の充実を求める意見書の提出要請について	不採択
----	--	-----

## －意見書の提出－

少人数学級推進などの定数改善と義務教育費国庫負担2分の1の復元を求める意見書  
 《提出先》内閣総理大臣、総務・財務・文部科学大臣、内閣官房長官

「協同労働の協同組合法（仮称）」の速やかな制定を求める意見書  
 《提出先》衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、総務・厚生労働・経済産業大臣







小畠淳  
副議長  
(平成会)

## 議会の構成が 変わりました

(H25.5.17)



中村弘美  
議長  
(無所属)

委員長

仲沢誠也  
(平成会)



小畠淳  
(平成会)

佐藤健一  
(いぶき21)

副委員長

伊藤毅  
(平成会)

畠沢一郎  
(平成会)



相馬エミ子  
(新生クラブ)



明石宏康  
(いぶき21)

### 厚生常任委員会(定数7人)

### 総務財政常任委員会(定数7人)

委員長

花岡有一  
(平成会)



田中耕太郎  
(いぶき21)

副委員長

武田晋  
(平成会)

佐藤照雄  
(平成会)

虹川久崇  
(平成会)

佐藤照雄  
(平成会)



菅大輔  
(新生クラブ)

齊藤則幸  
(公明党)

#### 【主な審査事項】

- ▼戸籍、住民基本台帳
- ▼国民健康保険、介護保険、国民年金
- ▼市民税などの賦課・徴収
- ▼環境保全、生活相談
- ▼廃棄物(ごみ・し尿)処理
- ▼交通安全対策
- ▼他の常任委員会に属さない事項
- ▼消防
- ▼現金など物品の出納保管
- ▼選挙・監査
- ▼市有財産の管理、工事の入札・検査
- ▼市の組織や職員人事
- ▼広報・広聴、防災対策
- ▼地域情報化の企画・推進
- ▼財政計画、予算編成
- ▼市政の総合計画・調整、事務改善

#### 【主な審査事項】

- ▼児童福祉、児童館、保育園
- ▼斎場、墓地公園、ペット霊園
- ▼対策
- ▼お年寄り、体の不自由な方の生活困窮者対策
- ▼生活困窮者対策
- ▼市民の健康、医療
- ▼廃棄物(ごみ・し尿)処理
- ▼お年寄り、体の不自由な方の生活困窮者対策

## 議会運営委員会

議会運営に関することなどについて協議しています。

(○)委員長 (○)副委員長

○蛇川 久崇(平成会)

○武田 晋(平成会)

伊藤 豪(平成会)

藤原 美佐保(平成会)

佐々木公司(いぶき21)

佐藤 健一(いぶき21)

菅 大輔(新生クラブ)

## 各種委員等

◇監査委員

藤原 明(平成会)

◇民生委員推せん会委員

小棚木政之(平成会)

佐藤 健一(いぶき21)

◇都市計画審議会委員

千葉 倉男(平成会)

藤原 美佐保(平成会)

田中耕太郎(いぶき21)

委員長



吉原 正  
(いぶき21)

委員長



佐藤 久勝  
(平成会)

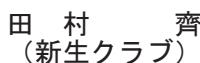
副委員長



富樫 孝  
(新生クラブ)

## 建設水道常任委員会(定数7人)

副委員長



田村 齊  
(新生クラブ)



中村 弘美  
(無所属)



藤原 美佐保  
(平成会)



藤原 明  
(平成会)



小棚木政之  
(平成会)



石田雅男  
(平成会)



千葉倉男  
(平成会)



高橋松治  
(社会民主党)



笹島愛子  
(日本共産党)



佐々木公司  
(いぶき21)



佐藤芳忠  
(無所属)

### 【主な審査事項】

- ▼道路・橋の新設・改良・維持
- ▼都市計画の総合企画・調整
- ▼農地、土地改良
- ▼農業技術の改良普及・指導
- ▼小・中学校の運営
- ▼給食や児童生徒の保健衛生
- ▼文化財保護、生涯教育、青少年健全育成、スポーツ及び文化の振興
- ▼地域振興
- ▼農林業の総合計画・調整
- ▼観光振興、地場産品の開発促進

### 【主な審査事項】

- ▼道路・橋の新設・改良・維持
- ▼都市計画の総合企画・調整
- ▼農地、土地改良
- ▼農業技術の改良普及・指導
- ▼小・中学校の運営
- ▼給食や児童生徒の保健衛生
- ▼文化財保護、生涯教育、青少年健全育成、スポーツ及び文化の振興
- ▼地域振興
- ▼農林業の総合計画・調整
- ▼観光振興、地場産品の開発促進

## 生涯スポーツとしての 水泳について

**武田晋議員(平成会)**

健康保持促進、障害者スポーツの拠点づくりを。また、屋内プールの必要性について。

【市長】市民プールは現在も各種大会が開催されているが老朽化が進み公認プールとしての規格を満たしておらず、観客席も大規模な大会では不十分で施設規模や建設場所を検討しながら公認50mプールの整備が必要。

室内プールは年間を通じて利用できる施設であり、市民の健康づくりのための生涯スポーツ施設、さらにはリハビリなど福祉事業を目的に活用している例もあり、先進地や関係機関等から情報収集して整備方法を検討する。

【問】市内小・中学校(幼稚園・保育園含む)水泳授業での市民プール活用について。

【教育長】水泳は基礎的運動

として教育課程の中に位置し、大館は伝統的に水泳競技が盛んで全県中学校総体における総合優勝数も県内では群を抜いている。小学校のスポーツ少年団、中学校の水泳部活動で市民プールを活用することはその多様な技能の活用や互いの刺激・切磋琢磨を通じモチベーションが高まり、練習が活性化することが期待できる。



## 中心市街地活性化

解体の指摘があり検討を重ねた結果、現時点では解体すべきと考えている。解体には3億円程度必要あり、補助事業を模索し財政状況も見極め検討したい。

【問】新館A・B棟について将来像が見えず、行き当たりばったりの対応である。社会福祉協議会移転騒ぎも提案までのプロセスが強引で、説明責任を果たしていない。長期展望に立ち、利用目的を明確にしてほしい。

【市長】市の将来像・方向性を考慮しながら新しいまちづくり計画を策定し、中心市街地活性化に取り組む必要があるのでは。

【市長】大町地区の衰退は予想以上のスピードで進んでおり軌道修正もやむを得ない。「活性化協議会」等の意見を取り入れ、新たな計画づくりに着手しなるべく早い時期に今後の方向性を示したい。

【問】旧正札竹村への対応

【問】3月定例会総括質疑において本館棟の利活用を問われ

「耐震補強をしてから利用方法を考えたい」旨の答弁だったが、利用目的もないのに、整備を先にするという理解に苦しむ判断であり、私は「本館棟は速やかに解体すべき」と考える。

【市長】平成17年に取得後、再利用案を検討したが決め手がなく現在に至る。3月定例会で

**佐藤健一議員(いぶき21)**

## TPPについて

結果、現時点では解体すべきと考えている。解体には3億円程度必要あり、補助事業を模索し財政状況も見極め検討したい。

【問】日本がTPPに参加した場合、大館市農業への影響は額を試算しているか。その後の対策を立てているか。

【市長】日本がTPPに参加した場合の影響額は、全ての関税を撤廃し、国内対策を講じないとすると、政府が行つた試算をもとにすると、秋田県全体では2,598億円の農業生産額が約3割減の1,790億円となり、そのうち米は1,092億円が約5割減の521億円になると試算している。大館市は、全体で144億円の農業生産額が97億円となり、米は53億円が25億円になると試算している。

TPP参加交渉では、関税撤廃の例外品目を確保できる保証はなく、結果によつては、大館市の主要産品である米を初めとする農畜産物は広範囲で影響を受けることが予想されるため、大館市では、この外圧を奇貨として第一中学校第二体育館の改築など、比内地区では、笛ヶ谷地区の農道整備事業や八木橋寺崎線の改良事業など、田代地区では中山間地域総合整備事業による山瀬地区の農道整備や岩の目沢林道整備、岩瀬山田線ほかの道路改良などである。平成24年度の起債額は、特例債では比内地鶏糞処理施設など合計約2億6,000万円、過疎債では光プロードバンド整備事業や学校の耐震化事業などに合計約5億4,000万円となつていて。

## 合併特例債・過疎債について

【問】合併後の特例債・過疎債をどのような事業に起債しているか。

【市長】主な事業は合併特例債では、御成町南地区土地区画整理事業や市民文化会館改修事業、比内まちづくり事業など、過疎対策事業債は、大館地区で北地区学校給食センターの建設や第一中学校第二体育館の改築など、比内地区では、笛ヶ谷地区的農道整備事業や八木橋寺崎線の改良事業など、田代地区では中山間地域総合整備事業による山瀬地区の農道整備や岩の目沢林道整備、岩瀬山田線ほかの道路改良などである。平成24年度の起債額は、特例債では比内地鶏糞処理施設など合計約2億6,000万円、過疎債では光プロードバンド整備事業や学校の耐震化事業などに合計約5億4,000万円となつていて。



そうま  
エミ子議員  
(新生クラブ)



**〔問〕** 指定管理者制度に第三者評価導入について  
市では307施設のうち、67施設が指定管理に移行しているが、監視や点検は大丈夫か、一般市民もモニタリングできる「第三者評価システム」の設置と「運用ガイドライン」を制定すべき。

**〔市長〕** 指定管理67施設中22施設が第三者委員会を設置し、26施設で意見聴取システムを構築。今後モニタリングも含め、運用ガイドラインに利用者モニター制度の構築を盛り込んでいく。

**〔下川沿公民館改築の中を〕** 下川沿公民館改築事業に小林多喜二コーナーを

が決まり26年度内には完成する予定だが、地元下川沿と言えばプロレタリア作家小林多喜二の



生誕の地でもあり、改築を機に公民館内に多喜二コーナーの設置を。

**〔教育長〕** ことしは多喜二生誕百十年、非業の死を遂げてから80年である、これを機に多喜二像を伝え顕彰することが、ふるさと大館の使命である。地元の意向を確認し、改築される下川沿公民館への小林多喜二コーナーの設置を検討してまいりたい。

**〔問〕** 介護施設入所待機者解消と在宅サービスの充実を

**〔問〕** 第5期介護保険事業計画で、さらに待機者解消に努め、特に24時間地域巡回型サービスを急ぐべき。高齢者は待つたなしで悲鳴を上げているが、今後の見通しについて伺いたい。

**〔市長〕** 第5期計画の中で242人の待機者解消となるが、まだ400人近い人が待機しているので計画を立て整備する。

**〔市長〕** 42人の待機者解消となるが、まだ400人近い人が待機しているので計画を立て整備する。

**〔問〕** 取得から長期間が経過した。8階建て部分については市民が求めている介護サービスを提供できるよう取り組んでいく。



明石宏康議員  
(いぶき21)

## 廃校舎の利活用について

**〔問〕** 全国では様々な活用がされている。校舎もまだ新しく、地域や事業者にとつてはまたとない優良物件である。従来なかつた地域ブランドを創出するチャンス。清流を使った水産業を提案したい。

**〔市長〕** 用途廃止となつた空き公共施設については、本年1月より施設の減額譲渡や減額貸し付け、増築及び改修助成金交付などの優遇措置を設けた大館市空き公共施設等利活用促進条例を施行している。議員紹介の福島県北塩原村の例(廃校舎でのチヨウザメ養殖)を含め、本市の恵まれた環境と資源をPRしながら積極的に募集していく。

**〔市長〕** 用途廃止となつた空き公共施設については、本年1月より施設の減額譲渡や減額貸し付け、増築及び改修助成金交付などの優遇措置を設けた大館市空き公共施設等利活用促進条例を施行している。議員紹介の福島県北塩原村の例(廃校舎でのチヨウザメ養殖)を含め、本市の恵まれた環境と資源をPRしながら積極的に募集していく。

**〔市長〕** 取得後の再利用案については、さまざまなお意見を伺い、検討をしてきたが決め手がなく現在に至っている。現時点では解体すべきと判断した。早急に府内プロジェクトチームを立ち上げ、大館市中心市街地活性化協議会の意見なども取り入れながら本年度のなるべく早い時期に方向性を示したい。その

中で民間投資を促進する施策についても十分検討する。かつて栄えた大町の象徴を自身の手で解体することとなり断腸の思いである。

**〔問〕** 小畠市政折り返しの評価と総括について市長のご見解をお聞きしたい。

**〔市長〕** 先ほど相馬議員から



明石宏康議員  
(いぶき21)

修繕して利活用との意見もあるが、修繕費用だけでも億単位は確実。解体も英断の一つである。市長の方針転換を翻意ではなく英断と評したい。大型商業施設の新設は無理と考える。市営4団地の建て替え事業が大詰めに入ってきた今、当該地の利活用に方向性を出し、民間投資を誘うときだ。事業者の数だけアイデアや提案がある。市長の発言は市民や事業者を大きく刺激されたが、自身で思うところはないか。

**〔市長〕** 取得後の再利用案については、さまざまなお意見を伺い、検討をしてきたが決め手がなく現在に至っている。現時点では解体すべきと判断した。早急に府内プロジェクトチームを立ち上げ、大館市中心市街地活性化協議会の意見なども取り入れながら本年度のなるべく早い時期に方向性を示したい。その中で民間投資を促進する施策についても十分検討する。かつて栄えた大町の象徴を自身の手で解体することとなり断腸の思いである。これまで実施した中には、期待した成果が十分得られなかつた政策などもあるかと思うが、未だ課題が山積する中、引き続き全力で取り組んでまいりるので、ご支援とご協力をお願

田村齊議員  
(新生クラブ)



# 一般質問

平成25年8月1日(No.109)

いしたい。

## 脱原発社会の基本的考え方について

【問】 ドイツでは脱原発を国策として決めたようだが、脱原発社会の潮流ストップは不可能。市長の基本的考え方をお聞きしたい。



佐藤 芳忠議員(無所属)

【市長】 脱原発を含むエネルギー問題については、石油・石炭など化石燃料による地球温暖化への対策も考慮しながら対応すべきと考えている。今後は、地域バイオマスや自然エネルギー等、再生可能エネルギーの導入を進め、脱原発と地球温暖化対策を推進してまいるので、ご理解をお願いしたい。

## 熊・カラスの有害駆除について

【問】 市民の生命・財産を守るために獣友会に実施を委託しているところだが、予算等について今後もご配慮いただきたい、市長のご見解をお聞きしたい。

【市長】 熊・カラスについて、駆除を委託しており、特別措置法の適用により、獣友会員を実行し、対策を進めてまいりたい。

## 身体障害者リハビリの環境づくりについて

【問】 人は身体の機能を失い初めてその大きさを知ります。

【答】 例えば、片足が利かなくなれば杖や『手すり』が無ければ歩行が困難になるなど、身体の機能が失われれば、日常生活に様々な障害が生じます。

身体の機能を回復し社会復帰を図るために、継続的な機能訓練や日常生活訓練が必要であ

り、当市は、以前は、リハビリーションの環境づくりに力を入れてきました。

市がリハビリ訓練を主催しておけるリハビリ事業は、昨年度は136日開催し、延べ1,411人の方にご利用いただいており、安全と健康管理にも配慮しておりますが、理学療法士などの専門家の指導についても今後検討してまいりたいと考えております。

【市長】 総合福祉センターにおけるリハビリ事業は、昨年度は136日開催し、延べ1,411人の方にご利用いただいており、安全と健康管理にも配慮しておりますが、理学療法士などの専門家の指導についても今後検討してまいりたいと考えております。

## 学校司書等に対する父母負担はなくすこと

【問】 父母負担の額はまちまちのようだが、金額の多寡にかかわらず「義務教育は無償」の

立場からも、即やめるべきだ。

【教育長】 今後、事務職員等の多忙化が解消できるよう、県や国に定数改善を要望する。

生活保護法の改悪は、全ての市民に悪影響が出る。「市民を守る」立場から、反対表明を

【問】 今度の法律改正の大き

な問題点として、書類の提出を義務づけることや福祉事務所の扶養義務者に対する調査権の付与などがある。また、生活保護の受給は恥という風潮は絶対ダメ。誰にでも起こる可能性がある。

【市長】 法改正により生活保護相談や申請が抑止されたり、適正な実施が妨げられるようなことがあります。また、市総合福祉センターの現在のリハビリ環境について、市長はどのようにお考えでしょうか。

【答】 トレイネットであるので、適正な制度は、国民の最後のセーフティネットであるので、適正に実施する。

## 子ども課・観光課・農林課など、本市の特色を出すため、制服等のデザイン検討を

【問】 今年度から新設された

子ども課は特にいち早く取り組み、知恵を出して若い父兄たちも親しめるようなものに。

【市長】 市民が気軽に訪れることができるよう職員の対応も心を込めて。その上、服装も含め雰囲気づくりも考える。

笛島 愛子議員(日本共产党)

訓練時間も一日6時間から一日2時間に減つてしましました。さらに平成21年度からは、日常生活訓練室が使用できなくなったり、訓練室前の『手すり』も取り外されました。

このように、現在、当市のリハビリーションは、平成19年度以前と比べ、訓練日も訓練時間も大幅に減り、日常生活訓練室が無くなり機能回復訓練室しか使用できなくなつたため、十分な訓練ができない状況にあります。また、日常生活訓練室前の『手すり』も取り外されたため、トイレやエレベーターまでの歩行が困難な状況にあります。

このよう、市総合福祉センターの現在のリハビリ環境について、市長はどのようにお考えですか。

【市長】 例えれば、片足が利かなくなれば杖や『手すり』が無ければ

歩行が困難になるなど、身体の機能が失われれば、日常生活に様々な障害が生じます。

身体の機能を回復し社会復帰を図るために、継続的な機能訓練や日常生活訓練が必要であ

り、当市は、以前は、リハビリ

ーションの環境づくりに力を入れてきました。

市がリハビリ訓練を主催しておけるリハビリ事業は、昨年度は136日開催し、延べ1,411人の方にご利用いただいており、安全と健康管理にも配慮しておりますが、理学療法士などの専門家の指導についても今後検討してまいりたいと考えております。

【市長】 獣友会員を実行し、対策を進めてまいりたい。

【教育長】 今後、事務職員等の多忙化が解消できるよう、県や国に定数改善を要望する。

一泊研修や修学旅行など、特別な事由以外は参加させること



立場からも、即やめるべきだ。

【教育長】 今後、事務職員等の多忙化が解消できるよう、県や国に定数改善を要望する。

## 全国市議会議長会表彰

**6月議会定例会において、在職 10年の議員に  
表彰状が伝達されました。**



藤 原 明 議員  
当選回数 通算3回



小 畠 淳 議員  
当選回数 通算3回



武 田 晋 議員  
当選回数 通算3回



田 中 耕太郎 議員  
当選回数 通算3回



佐 藤 久 勝 議員  
当選回数 通算3回

6月20日、本庁舎建設に  
関する特別委員会が設置  
されました。

本庁舎建設に  
て協議・調査を行います。

(○委員長 ○副委員長)

○石田 雅男 (平成会)  
○吉原 正 (いぶき21)

○小棚木政之 (平成会)  
○佐藤 照雄 (平成会)

○花岡 有一 (平成会)  
○仲沢 誠也 (平成会)

○佐々木公司 (いぶき21)  
○菅 大輔 (新生クラブ)

○ 笹島 愛子 (日本共産党)  
○ 高橋 松治 (社会民主党)

議会報委員会

編集後記

後期も編集委員になりました。  
全委員で、皆さんにしっかりと読んでいただけるよう知恵を出し合いたいと思っています。

あらためて、よろしくお願ひいたします。

さて、あれだけ苦労した雪のことも忘れ、今は色とりどりの花・木に目を奪われながらの生活になりました。

皆さんも自然を愛する、潤いのある生活が送れますよう願いながらそして、沢山のご意見をお寄せくださいるようにお待ちしております。

( 笹島 愛子 記 )

市議会を傍聴してみませんか

定例会と臨時会の本会議はどちらでも傍聴できます。

傍聴されるかたは、市役所東側(裁判所側)3階の議場入口で受付簿に住所・氏名等をご記入のうえ、係員の指示に従って議場へお入りください。

なお、団体での傍聴をご希望の場合は、傍聴席の数に限りがありますので、あらかじめ議会事務局にご連絡ください。

☎ 43-7108 (直通)